



いきいき久間っ子の育成
くま：工夫して学ぶ子
つ：強くてたくましい子
こ：心やさしい子

学校だより



ガンバルンジャーズ

NO. 23

令和5年1月24日
嬉野市立久間小学校
文責 校長 坂本和子

新年あけましておめでとうございます

2学期後半が始まりました！（1月10日）

1月10日（火）、18日ぶりに子ども達が無事に学校に帰ってきてくれました。ほぼ全員、集団登校で元気に来てくれました。あいさつを交わしながら「いよいよ始まった！」とスイッチが入りました。

朝の時間は、3年ぶりに2学期後半始まりの会を体育館で行いました。全校みんなで集まり、今の学年のまとめをしっかりとしていくことを確認できたことは大変よかったです。

学校の方でも昨年の苦い経験をもとに、感染対策を行いながら、できるだけ計画通りの活動をしていきたいと思っています。今年と言われていたようにコロナとインフルエンザの同時流行が来ています。先日学校メールでもお願いしましたが、毎朝の検温と健康観察を引き続きしていただき、発熱やのどの痛み等の風邪症状や体調が悪い時は、登校を控え、病院受診をお願いいたします。登校後も体調が悪い時や、兄弟で体調が悪い時もお迎えをお願いすることになります。急な変更やお願い等ご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、全ては「子ども達の学びを止めない」ために、ご理解のほどよろしく願いいたします。

2学期後半は心に残る思い出づくりと共に、復習や整理をしながらその学年の学習内容がしっかりと身につくような学習指導にも力を入れていきます。生活面でも学習面でも、それぞれの学年のしめくくりをしっかりとがんばらせたいと思っています。

今年も久間っ子ガンバルンジャーの成長のために、地域のお力をお借りしながら、学校と家庭としっかりと力を合わせていきましょう！今年もどうぞよろしく願いいたします。

児童民生委員会を開きました！（1月11日）

3年ぶりに、いつもお世話になっている校区の民生委員さんに集まっていただきました。特に、今回は委員さんの交代が多く、初めて学校に入る方もいらっしゃいました。

まず、子ども達の授業の様子を見ていただきながら、校内を案内しました。そして、学校と民生委員さん方の顔合わせ等を行いました。

翌日から、早速朝の登校指導をしてくださっている委員さんもおられて、ありがたいなあ、と思っています。また、民生委員は辞めても「朝の見守りは続けるよ。」と、たくさんのOBの方が子ども達をあちこちで見守ってくださっています。温かい地区に育つ子ども達は本当に幸せです。



委員会紹介（1月13日）

これも久間小学校自慢の伝統の一つですが、この時期に6年生が4.5年生に向けて、自分の委員会の紹介を行います。今年は仕事内容の紹介に加えて、やりがいや実際に自分にどんな力がついたかを、6年生

が堂々と発表してくれました。本当に感心しました。

運営、ボランティア、報道、体育、保健、図



書、給食の7つの委員会が、学校を支えています。4.5年生は高学年としての自覚が生まれる時期です。今年の6年生の姿をめざして引き継いでいってくれることを期待します。

「実いの久間っ子」第5弾！入賞 おめでとう！

【日本新聞協会「いっしょに読もう！新聞コンクール」】

- ＜優秀学校小＞ なんと全国で5校の中に久間小が選ばれました！
- ＜優秀賞＞ (5年) 上野彩華さん (全国で10人の中に選ばれました！)
- ＜奨励賞＞ (6年) 福島結さん (全国で38人の中に選ばれました！)

【新春読書感想文コンクール】※これも「学校賞」をいただきました！

- ＜地区優良賞＞ (1年) 伊東愛奈さん「おみくじの本」をよんで
(2年) 楠田りん乃さん「みんながえ顔だとわたしもうれしい」
中島和奏さん「てがみをください」
(5年) 上野彩華さん「なりたいわたしになるために」
(6年) 福島結さん「新しい出会いの物語」
- ＜地区佳作＞ (1年) 諸井咲さん「さるのオズワルド」をよんで
(2年) 井上佳玲さん「なんくるないさー」
(3年) 伊東泰良さん「しゅくだいドッジボール」を読んで
山田楓さん「サイのげんじつを知って」
(4年) 田中優莉さん「はれはれ池をさがして」を読んで
(5年) 西野龍心さん「おそろしい戦争」
(6年) 江頭幸来さん「動物も人も幸せな関係」
吉野凜斗さん「写真が残した悲しい記憶」



今年度は、学校に「朝の読書大賞」（高橋松之助記念、日本出版クラブ）、「わが家のエコ自慢コンテスト」（九州電力）、そして、「いっしょに読もう！新聞コンクール」（日本新聞協会）という、大きな学校賞を3つもいただきました。そのどれも、子ども達がみんなでつかんだ賞です。

特に新聞コンクールは、夏休みに子ども達が切り抜いた記事に親子で感想を交流し、さらに子ども達が自分の意見を提案する、というもので、先生方が下地を作り、家族で取り組んでいただきました。学校賞をいただいたのも、全校児童のほとんどが取り組んだという点です。児童・家庭・学校の連携プレイです。

NIE教育を始めて3年。初めは、新聞を子ども達が読めるだろうか、どのくらい取り組めるか、という不安もありましたが、1年生でも興味を持った記事の切り抜きや紹介ができることを、久間小の子どもたちは証明してくれています。読書にしてもそうですが、ICT利活用の前提として、文字や活字を読み、正確な情報を取捨選択する力、自分の考えを持つ力が、これからの未来を生き抜いていく子ども達には必要だと考えます。そして、これらの受賞の度に、地域の皆様から喜びや励ましの温かい声が届くのも本当にありがたかったです。これからも子ども達の成長のために職員一同がんばっていきます。

『ヤング川柳』(西日本新聞)入賞、おめでとう！

12月24日(土)のお題は「イメージ吟」(家の絵)

【佳作】 ひっこしだ こんなドキドキ はじめてだ (6年) 小池春輝さん

【次点】 おるすばん ちょっとかなしい おうちだな (2年) 宮崎颯真さん

1月14日(土)のお題は「結ぶ」

【佳作】 おみくじを しっかりむすんで ひとあんしん (1年) 福田章人さん

1月21日(土)のお題は「じっくり」

【次点】 じっくりと ねんとうしょかん かんがえる (1年) 納富紬季さん